

令和5年度 第6学年 授業改善プラン

文京区立駕籠町小学校

	児童の実態及び課題	○中心とする単元、 ◆カリキュラムデザイン	授業改善に向けての具体的な手立て	◎成果 ●課題
知識・技能	<p>&lt;理科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察をしても、目の前の現象を正確に捉えずに、事前知識による思い込みで記録をしてしまうことが多くある。</li> <li>・実験内容は分かっているが、器具を正しく操作して想定していた通りの実験をすることが難しい場面が多い。</li> </ul>	<p>&lt;理科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「水溶液」</li> <li>○「てこ」</li> </ul>	<p><u>導入や体験活動の工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の問題づくり場面で、十分に共通体験をさせ、そこから気付いた事実を共有する。その際、感覚に問いかけるようにする。</li> <li>・「水溶液」では、5種類の水溶液を見てどのようにして見分けるか、事実と言えるかどうかについて、時間をかけて話し合う。</li> </ul> <p><u>動画の活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な操作について、動画を用いて確認する。</li> </ul>	<p>◎目の前の事象を正しくとらえることができるようになってきた。また、実験内容を理解し、器具を正しく操作することができた。</p> <p>●既有知識や実験結果の見通しと実験結果が異なる場合、「なぜそうなったのか。どこが違うのか。」等、自ら問いを立て、再考することに課題がある。</p>
思考力・判断力・表現力等	<p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個々の資料から、事実を見付けることはできる。しかし、複数の資料を関連付けながら自分の考えをつくることや、既習内容を総合させて、学習問題に対する自分の考えをまとめることが難しい。</li> </ul>	<p>&lt;社会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「武士の世の中へ」</li> <li>○「江戸幕府と政治の安定」</li> </ul>	<p><u>資料提示の工夫</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「武士の世の中へ」では、前時代の絵巻と「武士の世の中へ」の絵巻の両方を提示し、比較させ、変化の様子をつかむようにする。</li> </ul> <p><u>まとめの書き方の支援</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既習内容のキーワードを全体で共有し、キーワードを使って記述するように促す。</li> </ul>	<p>◎複数の資料を関連付け、歴史的現象の変化を捉え、その意味について考えることができるようになってきた。</p> <p>●学習問題に対する自分の考えをまとめる際、キーワードを活用することができるが、既習内容を総合させ、端的に表現することが課題である。</p>
学びに向かう力・人間性等	<p>&lt;全教科&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自らに向き合い、粘り強く取り組むことが難しい児童がいる。</li> <li>・めあてをもって取り組むことができるが、活動後に自分自身のことを正しく認識しながら振り返り、まとめを書くことが難しい。</li> </ul>	<p>&lt;国語&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「大切にしたい言葉」「卒業文集」</li> </ul> <p>&lt;総合&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆「見つめようになりたい自分」「表現発表会」との関連</li> </ul>	<p><u>学習計画と振り返り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の見通しとゴールイメージを全員がもてるように、学習計画について話し合う活動を多く取り入れる。</li> </ul> <p><u>まとめの書き方の指導</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りやまとめの視点を提示する。記述されたものに対しては、随時フィードバックを行う。</li> </ul>	<p>◎学習計画について話し合う活動を多く取り入れたことで、学習内容の見通しをもつことができるようになった。</p> <p>●授業者が提示した視点で学習の振り返りを記述することはできている。しかし、自ら立てためあてと記述した振り返りに差がある。自己の学びと向き合い、客観的に捉えて振り返ることが課題である。</p>